

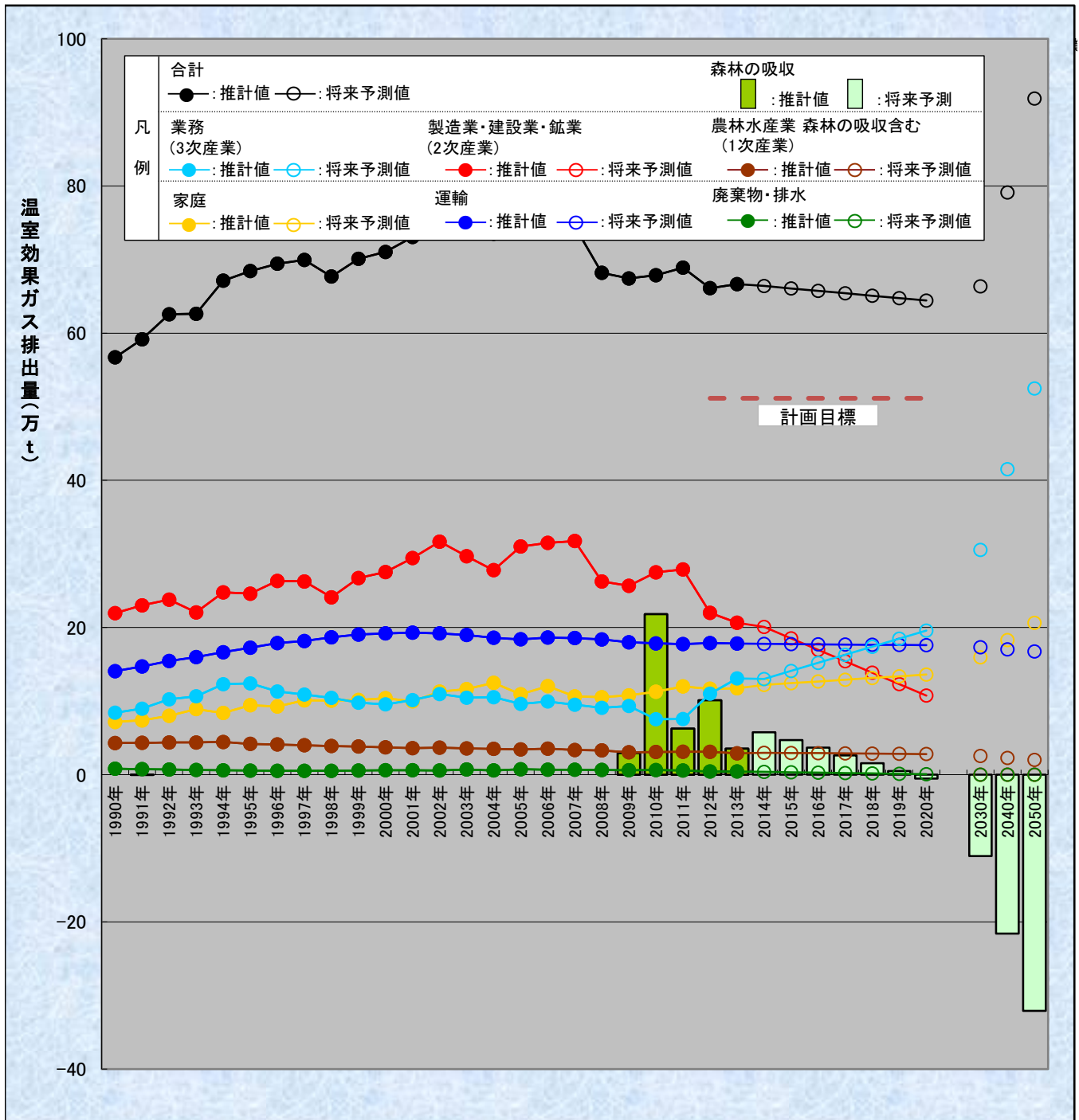
安曇野市域の温室効果ガス排出量

2013年時点における推計・将来予測

(最新版の“市・県”の統計書データの入力終了時点)

温室効果ガス排出量<CO₂換算>(t)

1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年
567,128	591,571	625,592	626,257	671,290	684,390	694,334	699,431	676,971	700,961
2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
710,296	730,624	773,603	750,418	735,159	741,341	763,511	745,022	681,959	674,266
2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
678,669	688,978	661,129	666,528	664,009	660,707	657,406	654,104	650,802	647,501
2020年	2030年	2040年	2050年	注1)黄色セルの年は、既存データによる推計値 緑色セルの年は、将来予測値。 2)最新の知見・データにより過去の排出量の値を変更する場合があります。 3)表の値には、森林の吸収分は含まれておりません。					
644,199	663,547	791,128	918,709						



・「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の推進に関連し、統計書などに記載のある「世帯数」や「登録自動車台数」といった既存の統計データより、1990年から現在※までの安曇野市域における温室効果ガスの排出量を推計しました。※最新の統計データがある年

・「安曇野市地球温暖化対策実行計画」において、平成20年度比25%以上の温室効果ガス排出量削減を目標としています。この目標を達成するためには、平成32年度の排出量を51.2万t-CO₂までに抑える必要があります。現在の平成32年度の将来予測値は64.7万t-CO₂であるため、より一層の温室効果ガス排出量削減の推進が必要です。

・昨年度からの増加の要因としては、3次産業部門における石油、電力の使用量が増加したことが考えられます。